



広報 したちおおた

令和6年
2024
10月号
No.755
水戸ホーリーホック

常陸太田市 × 水戸ホーリーホック 全力応援!



ジュニアチアダンス教室参加メンバーの皆さん



広報
したちおおたが
WEBでも読める

特集

常陸秋そば発祥の地

市からのお知らせ ○○○○○○ P18

時をかたね ともにつながる まちづくり 輝く未来

HITACHIOTA

特集

常陸秋そば



発祥の地

歴史

常陸秋そば発祥の地とされている赤土町は、地名通り赤い土壌で、山あいの傾斜地にそば畑が広がっています。水田が少なく、米の代用食として昔から葉タバコの裏作にそばが作られてきました。タバコや大豆を同じ畑で連作すると作物の生育が悪くなるため、裏作にそばをつくることで、タバコの生産性の低下を防ぐ方法がとられました。一方で、そばにとってもタバコの収穫後、畑に残った肥料が効果的だったため、そば栽培が盛んになっていきました。

特徴

た。そして、昭和53年、茨城県がブランド化に向け新品種の育成に乗り出し、県内在来種の中で最もおいしいといわれていた金砂郷在来種を選抜育成して「常陸秋そば」が誕生、昭和60年に県の奨励品種として採用されました。

常陸秋そばは、粒ぞろいが良く、実が詰まっていて、一粒一粒に重さがあるのが特徴です。また、赤土町周辺は、昼夜間の気温差が大きく、霧の立ち込める地形となっており、これが味



そばが
食べられる
まで



1



種まき

2



受粉

3



刈り取り

4



製粉

5



水まわし

6



延ばし

7



切り

8



完成





HITACHI
AKISOBA

の良いそばを育てるといわれています。口に含んだ時の甘みと、鼻腔に広がる芳醇な香りが特に優れ、そば職人や全国のそば通からも玄そば最高峰の評価を得ており、その味を求めて多くのファンがこの地を訪れます。

品質を守る

そばの品質管理では、種の管理が重要です。そばは、他の品種と交雑しやすいため、そば畑周辺の環境はとても重要で、山あいであることが外から他の品種の遺伝子が入り込むのを防ぎます。また、そばの花が実を結ぶためには、受粉の作業を担当する昆虫が多くいる周辺の環境



も大事です。常陸秋そばの種子は、県農業総合センター農業研究所で原々種を、本市で原種を生産し、その原種から赤土町を中心に近隣の採種農家が種子を生産し、一般の栽培農家に販売されるようになります。最初の原々種生産から一般の農家に供給されるまで3年かかります。本市は、常陸秋そば特有の香り、風味、甘みを守るため、種子を大切に栽培している産地なのです。

生産者に聞く



岡崎 武さん

赤土に勝るものはない、プライドを持って作るそば

私は、赤土町でそばの種子を生産しています。3代前くらいからそばの生産をしており、当時は、今とは違い葉タバコの生産が主流で、その裏作として小麦やそばが作られていました。当時から赤土産のそばは、気候や土壌がよく、実につやがあり、丸々として、重量感があったため、他の地域と比べてすごく品質がよかったです。私も小さい頃からそば作りのお手伝い等をして育ち、赤土産そばの品質の良さを実感してきました。現在は、約1町6反歩で種子の栽培をし、「赤土のプライド」を大切に妻と二人三脚で生産しています。

そば作りのこだわり

そば作りには、小石混じりの斜面のある場所での生産が望ましく、いかに水はけをよくするかがポイント！また、品質へのこだわりとして、収穫後に天日乾燥を1週間かけて行い、そのうち4日間は遮光シートをかけて乾燥させる。時間をかけて水分を下げていくのがおいしいそば作りへの秘訣です！

生産した種子は農協へ、余剰分は一般そばとして卸されます。市内だけではなく遠方さままでなとところで常陸秋そばを取り扱っていただいているので、私がそういった方たちに常陸秋そばの良さを広め、そこからさらに広がっていくといいなと思います。

これからの常陸秋そばについて

最近では、地元の高校生がそば打ちに励み、全国大会に出場している等若い方の活動でどんどん盛り上げてくれるのはすごくうれしい。そばという貴重な作物が、赤土の名が、次の世代へと続いていつまでも誰かのもとへ届いてほしいです。

そば店に聞く



手打そば菊谷 巣鴨本店 菊谷さん

そば打ちを始めたきっかけ

もともとはサラリーマンとして働いていましたが、24歳の頃、当時興味をもっていただいていたそば打ちを親戚のおじさんに頼んで体験したことがきっかけで、28歳の時に脱サラして今の職を目指しました。30歳の頃独立して現在に至ります。

常陸秋そばとの出会いについて

11〜12年前頃、慈久庵の小川さんとご縁があり、畑のお手伝いをしていた際に、市農政課職員の方を紹介していただき、その後、赤土町の生産者の方を紹介いただきました。以前、皇室に献上する御料タバコを作っていた畑が耕作放棄地となっていたため、その場所です赤土町の生産者の方と共同で手刈り・天日干しで、そばを作るようになりまし。また、水府

産のそば等も使用しています。

常陸秋そばの魅力について

私は、生まれも育ちもお江戸の巣鴨ですが祖母が北茨城市出身のため、もともと茨城という土地にはなじみがありました。常陸秋そばは、さまざまな品種のそばがある中でも、おいしいの基準となるそばだと感じています。収量もとれ、大粒でも味がしっかりとしています。また、挽く際に細かくても粗くてもおいしく、そばを打つ際に細くても太くてもおいしいおそばが出来上がる、万能タイプのとても優れたそばだと思っています。

常陸秋そばへの想い

さまざまなお縁があり、赤土産のそばを使い始めるようになりましたが、中山間地でのそば栽培は効率が悪く難しい点が多いと思います。しかし、自ら赤土町でそばを自家栽培し、生産者に近い考えを持っている身としては、これからも耕作放棄地等を止められる力添えができればいいなと思いますし、そば店をやっている限りは、常陸秋そばを使



常陸秋そばをさらにPR!

常陸秋そばのさらなる魅力を発信するため、赤土町内に常陸秋そばの記念碑を設置します。11月13日から見ることができ、設置場所には、新たに駐車場を整備しましたので、ぜひ常陸秋そばの歴史に触れていただき、市内で常陸秋そばをお楽しみください。また、常陸秋そばの知名度向上のため、関係団体と連携し、味と名を広めていけるようPRしてまいります。



常陸太田のおそば屋さんの会

平成30年10月に設立し、これまで常陸秋そばを活用した地域の活性化および地域振興を図るため、常陸秋そば発祥の地にふさわしいそば店として、そば店の魅力とブランド力向上に努めてまいりました。現在、24店舗が会員となっており、お互いのそば打ちを見せ合う研修会などで技術を磨く取り組みを積極的に行っています。店舗同士が技術を高め合い創意工夫をしながら、常陸秋そばの魅力を発信しています。

若い世代へ

常陸秋そば発祥の地でもある本市の県立太田西山高校の生徒が「そば打ち甲子園」に挑み、日々練習に励んでいます。高校生がそば打ちに親しむ姿を通して、若い世代にもそばへの関心を持つてもらえる機会であり、常陸秋そばの魅力をもっとPRする絶好の機会です。練習会では、「いばらき蕎麦の会」の全面協力のもと、技術指導などを行い、生徒たちとともに大会での入賞を目指し、今年度は、3年生のAチームが10位敢闘賞に輝きました。高校生の指導にもあたっている、



いばらき蕎麦の会事務局の掛札久美子さんは、もともとはそばが苦手でしたが、会員が打ったそばを食べて、美味しさに感動し、周囲の方に勧められてそば打ちを始めました。「全日本素人そば打ち名人大会」に出場し、何度もそばと向き合いながら通算14回目の挑戦で見事名人位を獲得しました。掛札さんは、「常陸秋そばの魅力をもっとPRするとともに、後進を育てていきたい」と意気込みます。



いばらき蕎麦の会
掛札 久美子さん

常陸秋そばを楽しむ
イベントが盛りだくさん！

常陸秋そばフェスティバル

～周遊型謎解き&スタンプラリー～

「常陸秋そば」は、本市最大の地域資源であり、「常陸秋そば」のブランド力の向上・さらなる交流人口の増加・市内経済の活性化を図るため、周遊型による常陸秋そばフェスティバルを開催します。

◇内容

●常陸秋そば店スタンプラリー

常陸秋そば粉使用市内そば店を巡り
全店舗制覇を目指すスタンプラリー。

●謎解きイベント

市内の飲食店、菓子店、土産店、寺社仏閣などをめぐり、手がかりやヒントを入手しながら、謎を解き、スタンプを集めてください。

*スタンプ数に応じて、抽選で賞品をプレゼントします。

*詳しくは市観光物産協会ホームページをご確認ください。

◇問：市観光物産協会(72-8194)





各大会で小・中学生が活躍

- ◆令和6年度第70回全日本中学校通信陸上競技茨城大会
 - ・共通女子四種競技第2位 江幡咲夏さん(太田中3年)
 - ・共通女子円盤投第3位 富永莉央さん(金砂郷中2年)
- ◆令和6年度県民総合体育大会
 - 陸上競技の部
 - ・共通女子四種競技第3位 江幡咲夏さん(太田中3年)*関東大会出場
 - ・共通女子砲丸投げ第1位 杉谷愛奈さん(峰山中3年)*関東大会出場
 - ・共通女子800m第5位 白水愛麻さん(峰山中3年)
 - ・共通男子800m第7位 小祝玖音さん(峰山中2年)
 - ・共通女子円盤投第3位 富永莉央さん(金砂郷中2年)*関東大会出場
 - ・共通男子200m第7位 渡部連さん(里美中3年)
 - 弓道女子団体の部
 - ・第5位 涌井愛良さん(太田中3年)、木谷好花さん(太田中3年)、鴨志田紗良さん(太田中3年)*関東大会出場
 - 水泳競技の部
 - ・女子100m背泳ぎ第7位 岩間優希奈さん(太田中3年)*関東大会出場
 - ソフトテニス男子個人の部
 - ・第1位 菊池亮成さん(金砂郷中3年)*関東大会出場



優秀選手による市長表敬訪問



- ソフトテニス男子団体の部
 - ・第3位 代表 小松崎翔太さん(瑞竜中3年)*関東大会出場
 - ・第3位 代表 菊池亮成さん(金砂郷中3年)*関東大会出場
- バレーボール女子の部
 - ・第3位 柏村心美さん(瑞竜中2年)、大塚悠萌さん(瑞竜中1年)、根本優萌さん(瑞竜中1年)*関東大会出場
- ◆文部科学大臣杯第66回小学生・中学生全国空手道選手権大会
 - ・中学3年生女子形の部出場 沼田優菜さん(瑞竜中3年)
- ◆第41回全日本小学生ソフトテニス選手権大会
 - ・第3位 小松崎翔空さん(常陸太田ソフトテニススポーツ少年団)*全日本ジュニアソフトテニス選手権大会出場
- ◆第40回全国小学生陸上競技交流大会茨城県大会
 - ・小学女子6年100m第1位 櫻井理央さん(水府小6年)*全国大会出場

救急医療功労者を表彰

救急の日(9月9日)および救急医療週間(9月8日~14日)にあたり、長きにわたり救急医療の前線で活躍されている医療法人大修会 大山病院 看護師 高野孝子さん、医療法人一路会(旧太田病院) 看護師 根本ふじ枝さんの2人に消防本部より感謝状が贈呈されました。





おめでとうございます



道路ボランティア団体の表彰

8月21日、県道路ボランティア団体の県知事表彰式が行われ、次の団体に表彰状が送られました。

・岩手町草刈ボランティア会（構成員：51人、代表：向井次男さん）

・上利勝地道路美化支援隊（構成員：6人、代表：木村義一さん）

*道路ボランティア団体とは、県から認定を受けて道路の清掃・除草、花壇の手入れ等の道路美化活動を行っている団体で、今回受賞の2団体は令和3年から認定を受けて活動し、その功績が認められ表彰されました。



岩手町草刈ボランティア会



上利勝地道路美化支援隊



TOPICS

河川愛護活動団体の新規認証

河川愛護活動団体の認定証交付式が行われ、東連地河川愛護会（構成員：12人、代表：小林茂夫さん）が新たに河川愛護活動団体となり、市内では5団体が活動することになりました。

◆問：道路ボランティアについて：県常陸太田工事事務所道路管理課（80・3362）／河川愛護活動団体について：県常陸太田工事事務所河川整備課（80・3364）

*県常陸太田工事事務所では、道路ボランティア団体・河川愛護活動団体を随時募集しています。



東連地河川愛護会

長寿を祝う

9月12日、宮田市長が今年度100歳を迎える生天目ふみ子さん(下利真町)、渡部君子さん(馬場町)の自宅を訪れ、国・県からのお祝い状と記念品、市からのお祝い金を手渡しました。生天目さんは「のんびり過ごすのが一番、曾孫が遊びに来てくれるのが楽しみです」と、渡部さんは「子どもたちがよくしてくれてここまで元気に過ごしてこられました」と喜びを話してくれました。



生天目さんご家族、宮田市長



渡部さんご家族、宮田市長

市内ぶどう園で収穫体験

9月10日、誉田小学校3年生19人が、市内ぶどう園で収穫体験を行いました。これは、総合的な学習の時間の一環として体験しているもので、児童たちはこれまでに花切り・袋かけを体験しており、今回はその集大成として自分で選んだぶどうを収穫しました。



地震対策だいじょうぶ?

日本は、世界で起きる地震の1割が集まる地震大国ともいわれています。今年発生した能登半島地震では、住宅の被害や断水などが続き、住民の暮らしに大きな影響を与え、長期化した避難生活を余儀なくされています。また、近い将来、大地震が発生する可能性が高いことが報道されており、いざというときに自分の身を守るため、日頃から必要な「備え」をしておくことが大切です。

ちょっとずつできる地震災害への備え

●災害時の行動の話し合い

災害時は携帯電話などがつながりにくくなり、家族との連絡が難しくなります。ハザードマップを見て、普段から避難場所や避難経路を家族で話し合みましょう。



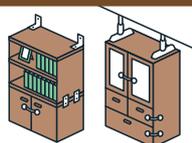
●安否確認のために

災害用伝言ダイヤル「171 (局番なし)」に電話をかけると伝言を録音でき、自分の電話番号を知っている家族などが、伝言を再生できます。災害用伝言板 (web171) にアクセスすると、文字による伝言サービスが利用できます。

*スマートフォンの予備バッテリーなども備えておく心安心です。

家具の固定、配置

●転倒防止→壁などに固定する
寝室や子ども部屋には、できるだけ家具を置かない



●出入口を確保する→配置を工夫する



食料・飲料などの備蓄

電気やガス、水道などのライフラインが止まった場合に備えて、普段から飲料水や保存の効く食料などを備蓄しておきましょう。

【備える▶食べる▶買い足す】
がおすすめです。

食料・飲料・生活必需品などの備蓄の例

- 飲料水…3日分(目安は1人1日3ℓ)
- 非常食…3日分(ご飯(アルファ米など)、保存パン、チョコレートなど)
- 生活用水…トイレを流すために水道水を入れたポリタンクを用意する、お風呂の水をいつも張っておくなど
- その他…トイレットペーパー、ティッシュペーパー、カセットコンロ、ラップフィルムなど

*大規模災害発生時には、「1週間分」の備蓄が望ましいとされています。



燃料は余裕をもって確保

東日本大震災では、燃料の入手が困難になり、ガソリンスタンドに長蛇の列ができました。災害発生時の「安心」のために、早めの給油を心がけましょう。また、灯油も余裕をもって購入しておきましょう。



災害時に正しい情報を得るには

テレビ、ラジオの報道に注意してデマにまどわされないようにしましょう。また、市の防災行政無線やホームページなどから正しい情報を得ましょう。



避難所開設について

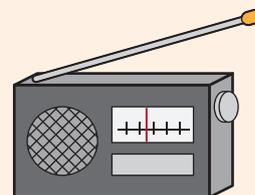
地震の際は、余震による建物の倒壊など、2次災害に遭遇する可能性もあることから、安全性を確認してから避難所を開設します。開設する避難所は防災行政無線やホームページ等でお知らせします。

防災行政無線の受信状況をご確認ください

防災行政無線デジタル化に伴い、新しい受信機の交換をしています。すでに交換済みの受信機に次のような場合(症状)がありましたら、「NECコールセンター」にお電話ください。

- ・途切れて聞こえづらくなった
- ・電源(電池)を入れているのにランプが点かなくなった
- ・しばらくの間、放送を聞いていない
- ・故障かな

 NECコールセンター(市委託コールセンター)(32-7177)
受付時間:月~金曜日 午前9時~午後5時(祝日を除く)



常陸太田市の日

が開催されました！



9月22日に水戸ホーリーホック・ホームタウン推進協議会
による市町村の日「常陸太田市の日」としてイベント等が
行われました。その様子をお届けします。



PR大使の山田奈央選手
と野瀬龍世選手、小島
耕社長が宮田市長のも
とを訪れ、試合への意
気込み等を語りました。

試合前のPRイベントとして、サイン会を開催
しました。幅広い年代の方166人にお越しいた
だき、PR大使のお2人と交流を深めました。また、
優待チケットの販売も行われ、サイン会を含む
全体で328枚が販売されました。



藤井ハイム常陸太田
で、Be supporters!
の取り組みとして、
試合観戦会が行われ
ました。声出しや手
拍子で応援を楽しみ
ました！



9月22日(日)水戸ホーリーホック対ファジアーノ岡山 試合当日の様子

当日は、特産品販売や市内飲食店ブース、豪華景品が当たる抽選会、市内中学生が参加したホーリーホックコーチによるサッカークリニック等、試合以外にも多くの方にお楽しみいただきました。



ロッカールームには、太田一高書道部の作品が掲げられました。



前座試合では、市内サッカー少年団等の子どもたちが元気いっぱいにプレーしました。

ボールパーソンは太田一高サッカー部の皆さんが努めました。また、開会セレモニーでは、宮田市長が登場し、会場の皆さんへあいさつしました。



ハーフタイムには、市内の子どもたちによるジュニアチアリーディングのパフォーマンスで会場を盛り上げました。



地域の農業の未来を考える 「地域計画」を策定中です!



地域計画とは?

各地区で話し合いを行い、将来の農地利用の姿を明確にした地域農業の設計図です。

「協議の場」1回目 ~地域農業の将来の在り方を考える~

後継者もないし若い人も少ない。このままだと耕作する人が...
外から耕作に来てくれる人を探した方がいいかな?



農作業を楽にして付加価値を付ける方法はないかな?



将来、地域農業がこんな風になっていたらいいな、こんなことができたらいいなという意見を出し合い、集約します。



「協議の場」2回目 ~目標地図(素案)の作成~

このあたりの田畑はどうなっているのかな?誰か使う予定はあるのかな?



将来的には農地を集約して作業をやり易くしたい。



地図に実際の耕作者を書き込み、現況を把握し、情報交換を行います。



「協議の場」3回目 ~地域計画案の確認~

話し合った意見と地図を確認し、追加や修正を行い、公表・公告を行います。次年度以降は新しい意見を反映させたり、計画を実現させるための手法について検討を行っていきます。

地域計画



目標地図



「協議の場」は農政課や関係機関(町会組織や農業関係団体等)を通じ開催の案内をしています。年齢・性別・農業従事の有無にかかわらず、多くの皆様のご参加をお願いします。



*「協議の場」の日程等は市ホームページをご覧ください。